

お知らせ

- ◎平成16年度研究成果発表会開催
- ◎多摩森林科学園森林講座開講（第6回：平成16年11月12日（金）開催）

◎平成16年度研究成果発表会開催

来る10月19日（火）、当所の平成16年度研究成果発表会を開催します。今年度は、「日本の生物多様性保全研究の現状とこれから」－里山のオオタカ、大台ヶ原のシカ、固有種の島小笠原での研究成果－をテーマに下記の発表を行います。

1. プログラム

13:20～13:25

開会の辞 理事長 田中 潔

13:25～14:10

「孤立、断片化した里山の保全を考える」
－石狩平野での鳥、昆虫、植物の多様性から見た功罪－
尾崎研一（北海道支所生物多様性担当チーム長）

発表内容

里山の森林は開発等により連続した森林から小さな断片へと変化してきました。このような森林の孤立・断片化は、本来森林に生息する種の減少と、その一方で周辺環境からの移入種の増加をもたらすことが分かりました。また、このような孤立・断片化の影響は、鳥、昆虫、植物といった生物群によって異なることも分かりました。以上の結果をふまえて、里山の生物多様性の保全策について提言します。

14:10～14:55

「シカの個体数管理から森林生態系管理へ」
－大台ヶ原自然再生のために－
日野輝明（関西支所野性鳥獣類管理担当チーム長）

発表内容

高密度化した二ホンジカによって崩壊に瀕した大台ヶ原の森林において、シカ、ネズミ、鳥、ササ、樹木実生、節足動物、土壌間での相互作用ネットワークを明らかにし、それに基づいて構築したシステムダイナミクス・モデルを用いて、森林生態系再生のためのシカの密度管理や植生管理について提言します。

14:55～15:25 休憩

（会場ロビーにおきまして、平成15年度主要研究成果のポスター展示を行います）

15:25～16:10

「小笠原の自然を蝕む外来生物の脅威と対策」
大河内勇（森林昆虫研究領域昆虫多様性担当チーム長）

発表内容

東京の南1,000kmの太平洋上に、絶海の孤島、小笠原諸島が点在しています。大陸や日本本土から遠く離れた小笠原諸島では多くの固有種が進化し、繁栄してきました。しかし、その生態系は外来生物の侵入によって、急速に崩壊しつつあります。アカギ、グリーンアノール、ニューギニアヤリガタウズムシなどの主要な外来種の脅威の実態を明らかにするとともに、生態系の崩壊を食い止め、回復させるための戦略と方法について提言します。

◎多摩森林科学園森林講座開講

（第6回：平成16年11月12日（金）開催）

多摩森林科学園では園内の「森の科学館」で森林講座を開講しています。今年度第6回目の森林講座は以下のとおりです。

DNAからさぐる森の動物たち

観察だけではわからなかった動物たちの社会を覗いてみませんか？
森に住む哺乳類を中心にお話します。

講師：大西 尚樹

（関西支所 生物多様性研究グループ研究員）

お申し込み方法

往復はがきに講座名、住所、氏名、年齢、職業、電話番号をお書きの上、

〒193-0843

東京都八王子市廿里町1833-81

多摩森林科学園

までお申し込み下さい。お申し込みの受付は、講座日の2週間前までです。

はがきには1講座につき1名様をご記入願います。

16:10～16:25

総合討論
司会 福山研二（研究管理官）

16:25～16:30

閉会の辞 理事 藤原 敬

2. 日時

平成16年10月19日（火）13:20～16:30

3. 会場

イイノホール
東京都千代田区内幸町2丁目1番1号
飯野ビル7階
TEL：03-3506-3251
ホームページ <http://www.iino.co.jp/hall/>

4. 参加費 無料

5. 問い合わせ先

独立行政法人 森林総合研究所
企画調整部 研究情報科 広報係
〒305-8687

茨城県つくば市松の里1番地
TEL：029-873-3211（内線227）
FAX：029-873-0844
メール：kouho@ffpri.affrc.go.jp



交通

JR中央線・京王線高尾駅北口から徒歩約10分。駐車場がありませんので、お車での来園はご遠慮下さい。



受講料は無料ですが、入園料として大人300円・子供50円（小～高校生）が必要です。